

# 情報連絡員総括表（2019年6月）

## － 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 前月・今月の前年同月比 DI 値の比較
3. 項目別の景気動向
  - 1) 業界の経営動向
  - 2) 主要三指標における DI 値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI 値は基準値  $\pm 0.0$  (=横ばい) で推移  
 ※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

○2019年6月のDI値は、前月との比較において主要3指標を含む5指標において悪化する結果となった。特に「業界の景況」は、「悪化」が26件に対し「改善」の回答が1件という結果となった。

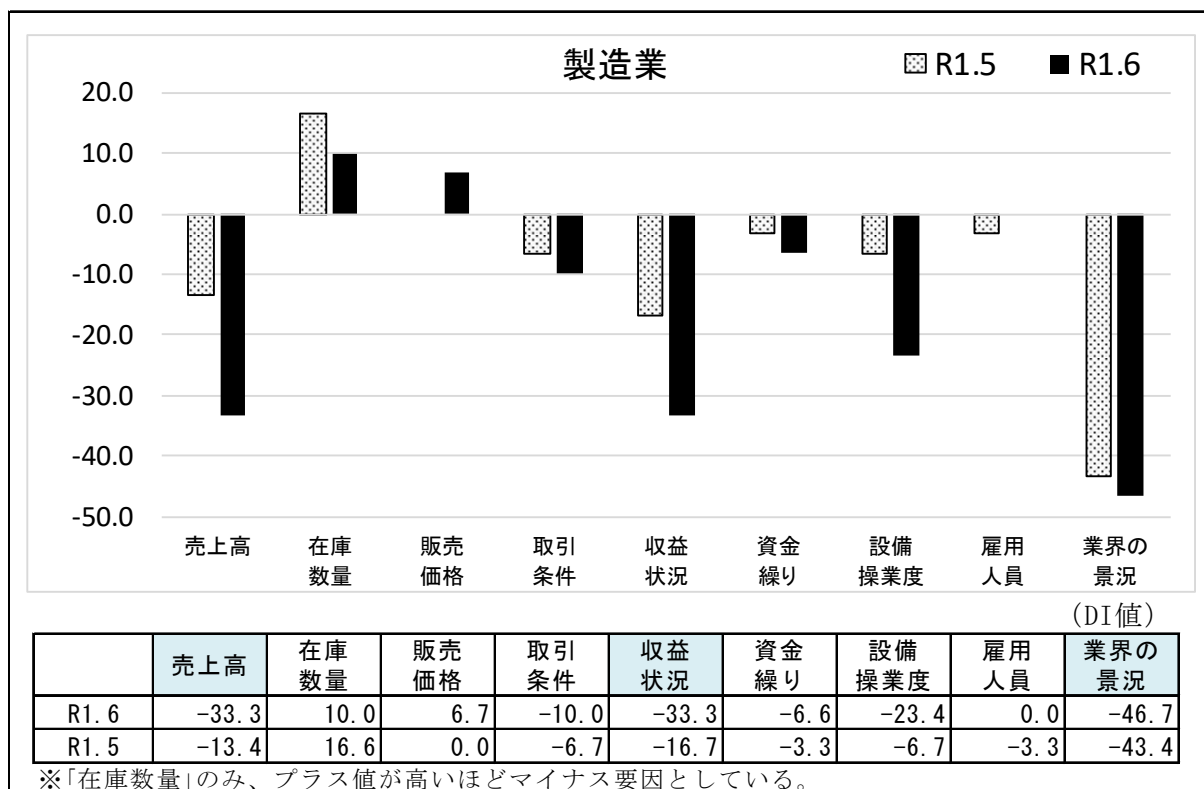
○「製造業」では、前月との比較において全9指標中6指標が悪化した。「売上高」「収益状況」「設備操業度」が特に大幅に悪化した。米中貿易摩擦が各業界に悪影響を与えている。

○「非製造業」では、前月との比較において全8指標中「販売価格」「収益状況」「資金繰り」の3指標が改善した。10月の消費税増引き上げ前の駆け込み需要も影響していると思われる。

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
R1.6	-25.0	0.0	1.6	-11.7	-28.3	-10.0	-23.4	-15.0	-41.6
R1.5	-15.0	4.7	-5.0	-10.0	-21.7	-13.3	-6.7	-15.0	-38.3
差	-10.0	-4.7	6.6	-1.7	-6.6	3.3	-16.7	0.0	-3.3

## 2. 前月・今月の前年同月比 DI 値の比較

### 【製造業】



**製造業**では、

主要3指標のDI値は、売上高 -33.3、収益状況 -33.3、業界の景況 -46.7となった。前月との比較においては、「在庫数量」「販売価格」「雇用人員」が改善、それ以外の6指標が悪化する結果となった。

「売上高」「収益状況」「設備操業度」の3指標の大幅に悪化した要因としては、主に木材・木製品の悪化件数における増加が挙げられる。

### ◎自由回答より

#### (水産食料品製造業)

- ・中元シーズンを迎えたが、水産業界では景気が好転しているように感じられない。
- ・水産業の基盤施設が老朽化しており、施設の更新に対する大規模な援助等に期待している。

#### (木材・木製品製造業)

- ・販売価格の低価格化が一層増しており、対前年比マイナス17%と大幅ダウン。組合員企業が1社倒産した。
- ・毎年のことだが、住宅用木材の使用量が落ちている。住宅以外の需要を掘り起こすには、個々の組合員の規模では難しい。
- ・天候不順により上棟に影響が出ている。

#### (紙・紙加工品製造業)

- ・家庭紙の供給不足が解消されてきて、家庭紙の価格改定も進み、売価改定の成果は出ているようだ。

(セメント製品製造業)

- ・売上は対前年比 31%増であるが、内容は乏しい。値上げ交渉が難航している。

(金属製品製造業)

- ・米中の関税問題の動きが、鍍金業界の景況に大きな影響を及ぼしている。

(生産用機械器具製造業)

- ・メーカー(客先)の中国向け輸出の激減とキャンセルが続いている。6月に仕事が集中したが、受注残は増えていない。
- ・電気自動車関連の受注は好調に推移している。そのほかの機械設備は、米中貿易摩擦の影響から様子見の状況が強まっている。

(電気機械器具製造業)

- ・冷蔵庫の生産が増加した。家庭用・業務用のエアコンは、販売が好調だった昨年とほぼ同レベルの生産となり、組合員企業の繁忙状態が続いている。

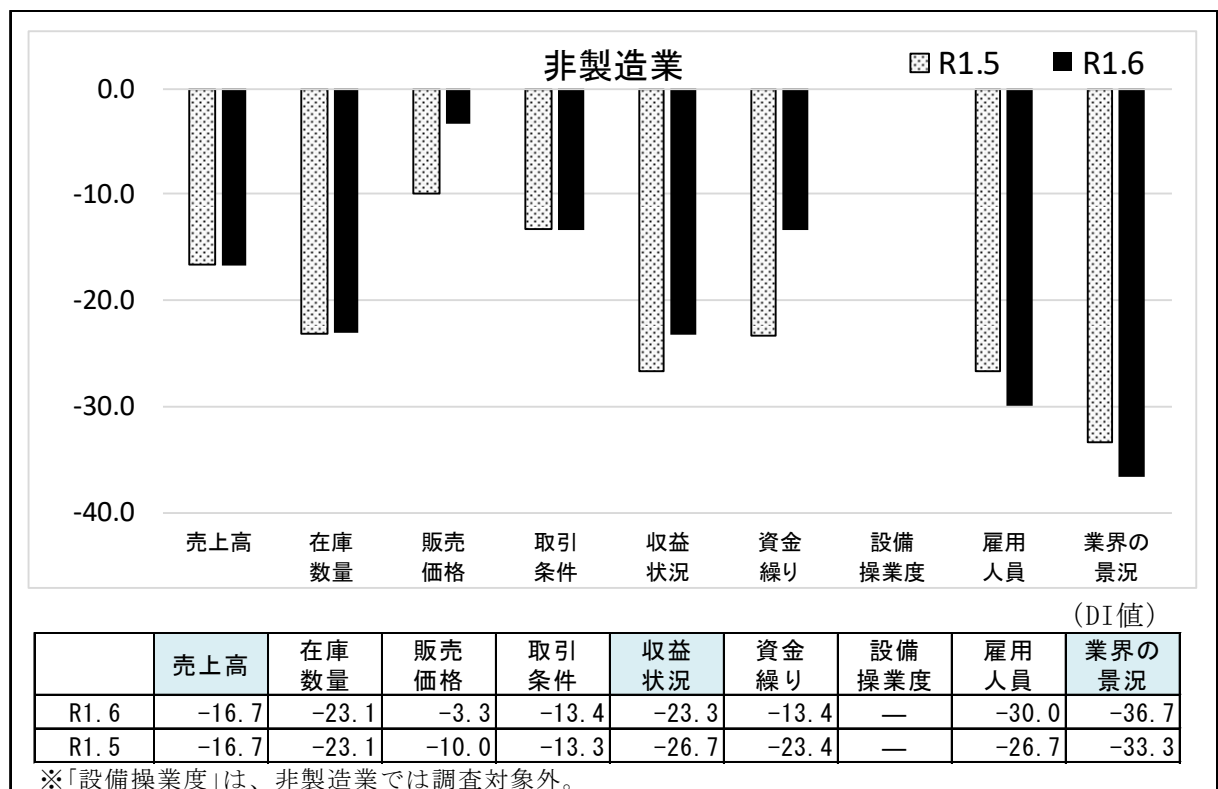
(輸送用機械器具製造業)

- ・生産量が減少し、在庫は増加傾向にある。下期の生産量増加に期待している。
- ・受注量が少なくなっているとともに、継続しての受注が無い。

(その他製造業)

- ・取引先の外資系化に伴い、関連企業の整理統合が進みつつある。各組合員企業で売上の増減があるものの、全体的には大きな変化は見られない。

【非製造業】



**非製造業**では、

主要3指標のD I値は、売上高 -16.7、収益状況 -23.3、業界の景況 -36.7となった。前月との比較においては、「販売価格」「収益状況」「資金繰り」が改善、「売上高」「在庫数量」が横ばい、「業界の景況」を含む3指標が悪化する結果となった。

「販売価格」「収益状況」「資金繰り」の3指標の改善した要因としては、主に商店街の組合における悪化件数の減少が挙げられる。

## ◎自由回答より

### (セメント卸売業)

- ・出荷状況が鈍く、2ヵ月連続で前年実績を大幅に下回った。

### (商店街)

- ・セール時の売上が良かった。施設全体の取り組みとして、今後はより価格を伝えることを意識して行っていく。

### (宿泊業)

- ・5月の10連休の反動により、ゴールデンウィーク明けから予約が伸び悩んでいる。インバウンドにより、一部好調な旅館もある。

### (総合工事業)

- ・「フルハーネス型墜落防止用器具特別教育」の講習の受講希望が多く、出張講習に力を入れている。
- ・今年10月の消費増税の影響もあり、リフォーム工事が増加傾向にある。

### (識別工事業)

- ・鉄骨関係の高力ボルト不足に伴う着工の遅れが、徐々に解消されつつあり、夏場に向けての工事量の増加が見込まれる。それに伴い、人手不足の懸念が再燃しつつあり、各社人手の確保と、受注金額下落の歯止めに注力している状況。業者により仕事量の多寡に差があり、元受の受注状況に左右されている現状も見逃せない。

### (道路貨物運送業)

- ・6月前半から中盤まで荷動きが活発だったが、20日以降はG20大阪サミット開催による交通規制の影響で、関西方面に限らず関東方面等広範囲で荷動きは大幅に減少した。これに伴い、運賃も一部下降する場面が見られた。
- ・ドライバー不足が深刻化している。
- ・消費増税前の駆け込み需要の影響で、取引先の稼働日数が多くなっている。

### 3. 項目別の景気動向 (前年同月比DI値のR1.5~R1.6における推移)

#### <売上高>

DI値	製造業		非製造業		全体	
R1.6	-33.3	19.9 ポイント低下	-16.7	0.0 ポイント同値	-25.0	10.0 ポイント低下
R1.5	-13.4		-16.7		-15.0	

売上高における全体のDI値は、前月より10.0ポイント低下し-25.0。

**製造業** は、前月より19.9ポイント低下し-33.3。「増加」した先は対象先30件の内2件で、食料品、窯業・土石製品が各1件。「減少」した先は12件で、輸送用機器が3件、繊維工業、木材・木製品、窯業・土石製品が各2件、印刷業、鉄鋼・金属工業、一般機器が各1件であった。

**非製造業** は、前月と同値の-16.7。「増加」した先は対象先30件の内4件で、運輸業が2件、小売業、サービス業が各1件。「減少」した先は9件で、卸売業、小売業、建設業が各2件、商店街、サービス業、運輸業が各1件であった。

#### <在庫数量>

DI値	製造業		非製造業		全体	
R1.6	10.0	6.6 ポイント好転	-23.1	0.0 ポイント同値	0.0	4.7 ポイント好転
R1.5	16.6		-23.1		4.7	

在庫数量における全体のDI値は、前月より4.7ポイント好転し0.0。

**製造業** は、前月より6.6ポイント好転し10.0。「増加」した先は対象先30件の内5件で、食料品が2件、繊維工業、窯業・土石製品、輸送用機器が各1件。「減少」した先は木材・木製品の2件であった。

**非製造業** は、前月と同値の-23.1。「増加」した先は無く、「減少」した先は対象先30件の内3件で、小売業が2件、卸売業が1件であった。

#### <販売価格>

DI値	製造業		非製造業		全体	
R1.6	6.7	6.7 ポイント上昇	-3.3	6.7 ポイント上昇	1.6	6.6 ポイント上昇
R1.5	0.0		-10.0		-5.0	

販売価格における全体のDI値は、前月より6.6ポイント上昇し1.6。

**製造業** は、前月より6.7ポイント上昇し6.7。「上昇」した先は対象先30件の内3件で、木材・木製品、紙・紙加工品、一般機器が各1件。「悪化」した先は木材・木製品の1件であった。

**非製造業** は、前月より6.7ポイント上昇し-3.3。「上昇」した先は対象先30件の内5件で、商店街、運輸業が各2件、小売業が各1件。「悪化」した先は6件で、建設業が3件、小売業が2件、卸売業が1件であった。

## <取引条件>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
R1.6	-10.0	3.3 ポイント低下	-13.4	0.1 ポイント低下	-11.7	1.7 ポイント低下
R1.5	-6.7		-13.3		-10.0	

取引条件における全体のDI 値は、前月より 1.7 ポイント低下し、-11.7。

**製造業** は、前月より 3.3 ポイント低下し -10.0。「好転」した先は対象先 30 件の内一般機器の 1 件。「悪化」した先は 4 件で、木材・木製品が 2 件、繊維工業、鉄鋼・金属工業が各 1 件であった。

**非製造業** は、前月より 0.1 ポイント低下し、-13.4。「好転」した先は対象先 30 件の内運輸業の 1 件。「悪化」した先は 5 件で、小売業が 2 件、卸売業、建設業、運輸業が各 1 件であった。

## <収益状況>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
R1.6	-33.3	16.6 ポイント低下	-23.3	3.4 ポイント上昇	-28.3	6.6 ポイント低下
R1.5	-16.7		-26.7		-21.7	

収益状況における全体のDI 値は、前月より 6.6 ポイント低下し -28.3。

**製造業** は、前月より 16.6 ポイント低下し -33.3。「好転」した先は対象先 30 件の内 2 件で、食料品、一般機器が各 1 件。「悪化」した先は 12 件で、繊維工業、木材・木製品、窯業・土石製品、輸送用機器が各 2 件、食料品、印刷業、鉄鋼・金属工業、一般機器が各 1 件であった。

**非製造業** は、前月より 3.4 ポイント上昇し -23.3。「好転」した先は対象先 30 件の内 2 件で、小売業、運輸業が各 1 件。「悪化」した先は 9 件で、小売業が 3 件、卸売業、建設業が各 2 件、サービス業、運輸業が各 1 件であった。

## <資金繰り>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
R1.6	-6.6	3.3 ポイント低下	-13.4	10.0 ポイント上昇	-10.0	3.3 ポイント上昇
R1.5	-3.3		-23.4		-13.3	

資金繰りにおける全体のDI 値は、前月より 3.3 ポイント上昇し -10.0。

**製造業** は、前月より 3.3 ポイント低下し -6.6。「好転」した先は対象先 30 件の内 2 件で、食料品、輸送用機器が各 1 件。「悪化」した先は 4 件で、食料品、繊維工業、木材・木製品、一般機器が各 1 件であった。

**非製造業** は、前月より 10.0 ポイント上昇し -13.4。「好転」した先は対象先 30 件の内運輸業の 1 件。「悪化」した先は 5 件で、小売業が 2 件、卸売業、サービス業、建設業が各 1 件であった。

## ＜設備操業度＞ ※製造業のみ

DI 値	製造業		非製造業		全体	
R1.6	-23.4	16.7 ポイント低下			-23.4	16.7 ポイント低下
R1.5	-6.7				-6.7	

設備操業度におけるDI 値は、前月より 16.7 ポイント低下し -23.4。

「上昇」した先は対象先 30 件の内 4 件で、食料品、鉄鋼・金属工業、電気機器、輸送用機器が各 1 件。「悪化」した先は 11 件、繊維工業、木材・木製品、一般機器、輸送用機器が各 2 件、食料品、印刷業、鉄鋼・金属工業が各 1 件であった。

## ＜雇用人員＞

DI 値	製造業		非製造業		全体	
R1.6	0.0	3.3 ポイント上昇	-30.0	3.3 ポイント低下	-15.0	0.0 ポイント同値
R1.5	-3.3		-26.7		-15.0	

雇用人員における全体のDI 値は、前月と同値の -15.0。

**製造業** は、前月より 3.3 ポイント上昇し 0.0。「増加」した先は対象先 30 件の内 5 件で、木材・木製品が 2 件、食料品、繊維工業、鉄鋼・金属工業が各 1 件。「減少」した先は 5 件で、窯業・土石製品が 2 件、食料品、繊維工業、木材・木製品が各 1 件であった。

**非製造業** は、前月より 3.3 ポイント低下し -30.0。「増加」した先は無く、「減少」した先は 9 件で、建設業が 3 件、小売業が 2 件、卸売業、商店街、サービス業、運輸業が各 1 件であった。

## ＜業界の景況＞

DI 値	製造業		非製造業		全体	
R1.6	-46.7	3.3 ポイント低下	-36.7	3.4 ポイント低下	-41.6	3.3 ポイント低下
R1.5	-43.4		-33.3		-38.3	

業界の景況における全体のDI 値は、前月より 3.3 ポイント低下し -41.6。

**製造業** は、前月より 3.3 ポイント低下し -46.7。「好転」した先は対象先 30 件の内食料品の 1 件。「悪化」した先は 15 件で、一般機器、輸送用機器が各 3 件、繊維工業、木材・木製品、鉄鋼・金属工業が各 2 件、食料品、印刷業、窯業・土石製品が各 1 件であった。

**非製造業** は、前月より 3.4 ポイント低下し -36.7。「好転」した先は無く、「悪化」した先は対象先 30 件の内 11 件で、小売業が 3 件、卸売業、建設業、運輸業が各 2 件、商店街、サービス業、が各 1 件であった。

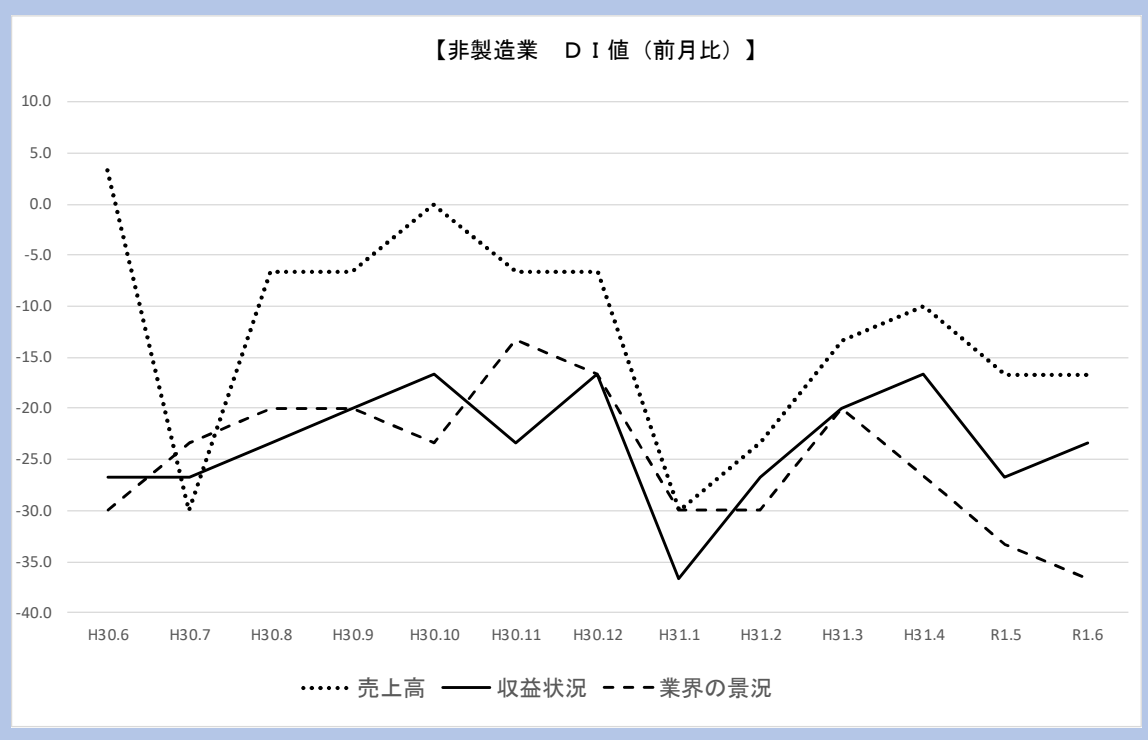
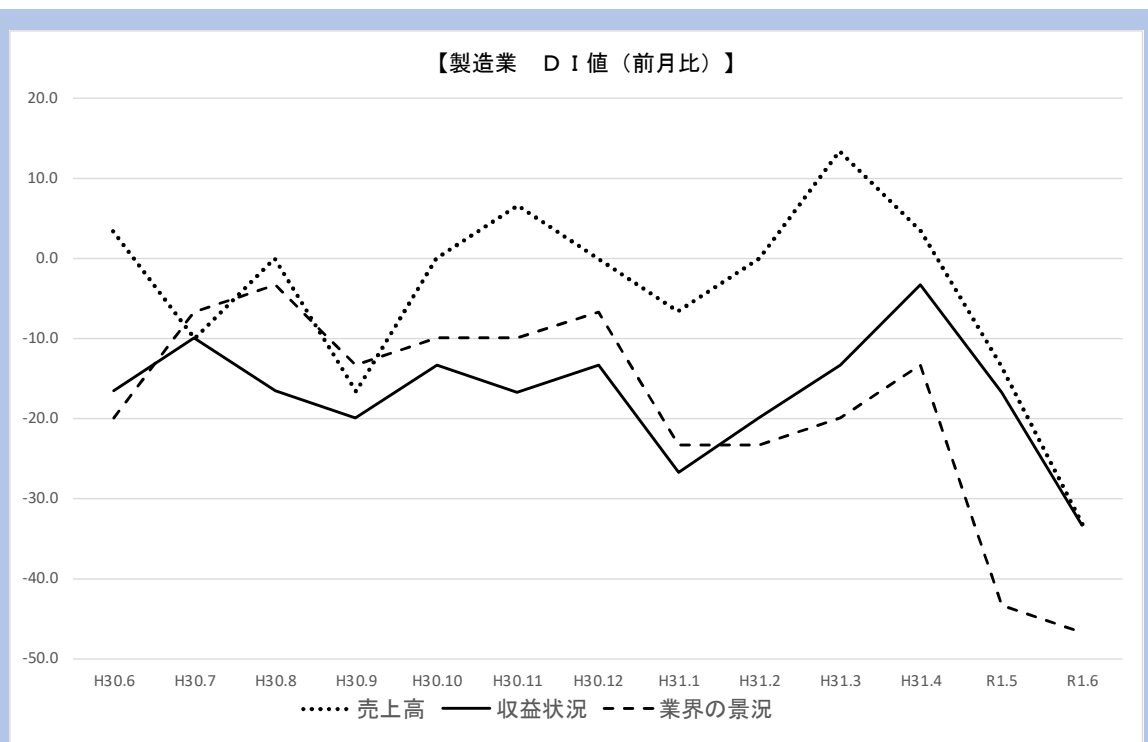
以上

## ■2018年6月期～2019年6月期までの推移

全体	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6
売上高	3.4	-20.0	-3.3	-11.7	0.0	0.0	-3.3	-18.4	-11.6	0.0	-3.3	-15.0	-25.0
収益状況	-21.7	-18.4	-20.0	-20.0	-15.0	-20.0	-15.0	-31.7	-23.4	-16.7	-10.0	-21.7	-28.3
業界の景況	-25.0	-15.0	-11.7	-16.7	-16.7	-11.7	-11.7	-26.7	-26.7	-20.0	-20.0	-38.3	-41.6

製造業	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6
売上高	3.3	-10.0	0.0	-16.7	0.0	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3
収益状況	-16.6	-10.0	-16.6	-20.0	-13.3	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3
業界の景況	-20.0	-6.7	-3.4	-13.3	-10.0	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7

非製造業	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6
売上高	3.3	-30.0	-6.7	-6.7	0.0	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7
収益状況	-26.7	-26.7	-23.3	-20.0	-16.7	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3
業界の景況	-30.0	-23.3	-20.0	-20.0	-23.3	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7





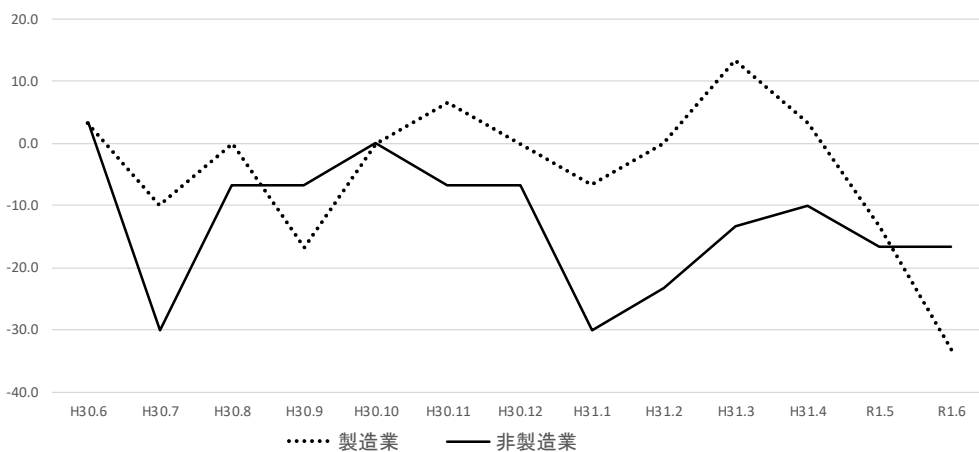
■2018年6月期～2019年6月期までの推移

売上高	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6
製造業	3.3	-10.0	0.0	-16.7	0.0	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3	-13.4	-33.3
非製造業	3.3	-30.0	-6.7	-6.7	0.0	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0	-16.7	-16.7

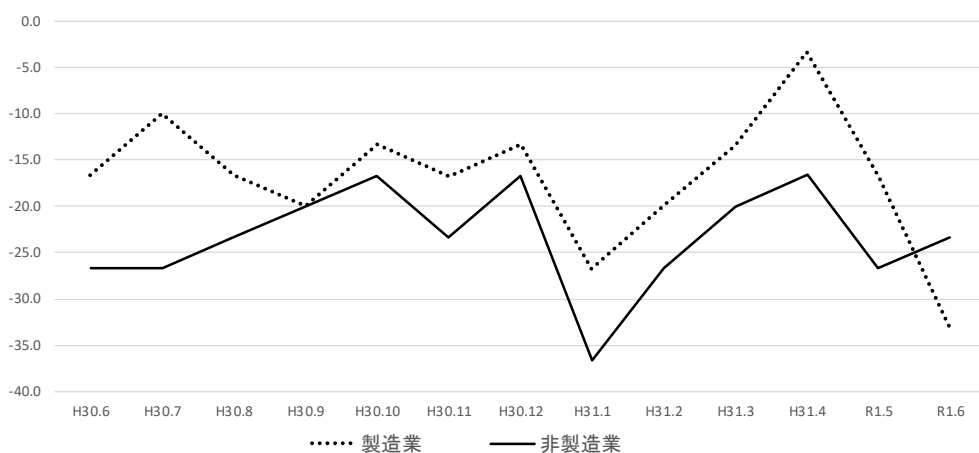
収益状況	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6
製造業	-16.6	-10.0	-16.6	-20.0	-13.3	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3	-16.7	-33.3
非製造業	-26.7	-26.7	-23.3	-20.0	-16.7	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6	-26.7	-23.3

業界の景況	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6
製造業	-20.0	-6.7	-3.4	-13.3	-10.0	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-43.4	-46.7
非製造業	-30.0	-23.3	-20.0	-20.0	-23.3	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6	-33.3	-36.7

【売上高／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】



【収益状況／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】



【業界の景況／製造業と非製造業の比較 D I 値（前月比）】

